

部品交換要領書

玄関引戸 れん樹[DE]4枚建用 突合せ・外召合せ錠

HHW13-079
2017年12月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください。

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

同梱されているもの

突合せ・外召合せ錠					
HH-J-517802(ラッチ無)の場合			HH-J-517806(ラッチ付)の場合		
突合せ錠ケース：1個	室外側化粧座：2個	外召合せ錠：1個	突合せ錠ケース：1個	室外側化粧座：2個	外召合せ錠：1個
下部連結板(固定)	突合せ錠：1個	子カギ：5本	下部連結板(可動)	突合せ錠：1個	子カギ：5本
取付ねじ(共通)	部品交換要領書	作業のために準備していただくもの			
 突合せ錠ケース 取り付け用：2本	本書 1枚				
		プラスドライバー	マイナスドライバー	ビニールテープなど	
		 1本	 1本		

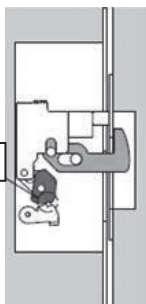
※部品が全てそろっていることを確認してください。
※突合せ錠ケースには、○印部の下部連結板の形状の違いによりラッチ無とラッチ付の区別があります。
※突合せ錠および外召合せ錠には取付ねじ(抜け防止用加工)が組み込まれています。
※工事用カギが3本同梱されていますが、使用しません。

用語の説明

「ラッチ付」：引戸閉じ時のはね返り防止機構が付いた錠



ラッチ機能部



引戸を勢いよく閉めたときに引戸が枠からはね返ろうとしても、戸先錠の鎌がかかって、引戸のはね返り(開き)を防止する機構

※部品の取りはずし方・取り付け方は2～13ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

突合せ側操作部について

※突合せ錠には引戸を閉める際のはね返りを防止するラッチ機構の有無があり、それぞれ突合せ側の操作部には下写真の通りの3タイプがあります。突合せ錠を取りはずすには、これらを取りはずしてから行ってください。

ラッチ機構無

■ 舟底引手タイプ



室外側

室内側

■ 室内外側バーハンドルタイプ



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ

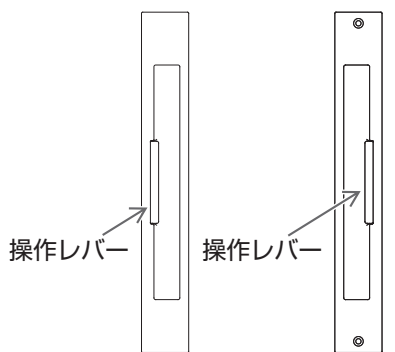


室外側

室内側

ラッチ機構付

■ 舟底引手タイプ



操作レバー

操作レバー

室外側

室内側

■ 室内外側バーハンドルタイプ



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ



操作レバー

室外側

室内側

※室内外側舟底引手共に操作レバー付です。

※ラッチ機構付の室内外側バーハンドルはともに左右に動きます。

※室外側バーハンドルは左右に動きます。
室内側舟底引手には操作レバーが付いています。

※突合せ側操作部の取りはずし方については次頁を参照してください。

部品の取りはずし方

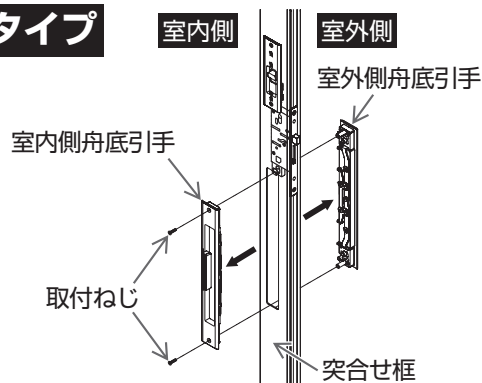
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 突合せ側操作部の取りはずし

舟底引手タイプ



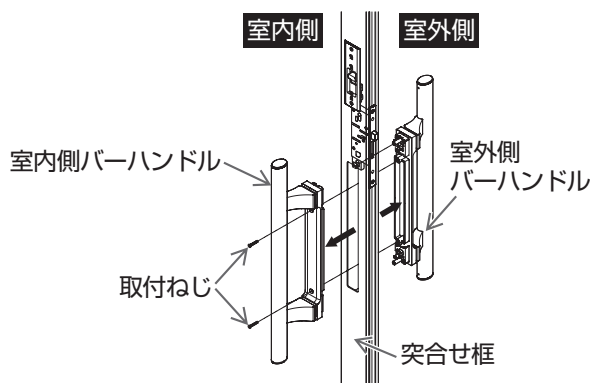
室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側舟底引手をはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側舟底引手がはずれます。

落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側舟底引手、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室内外側バーハンドルタイプ



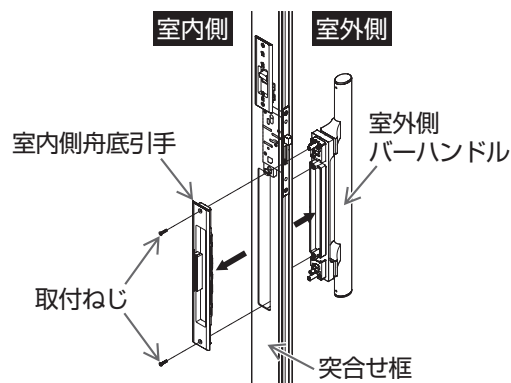
室内側よりプラスドライバーで室内側バーハンドルの取付ねじをはずし、室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。

落下にご注意ください。

※取りはずした室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室外側バーハンドルタイプ



室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。

落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

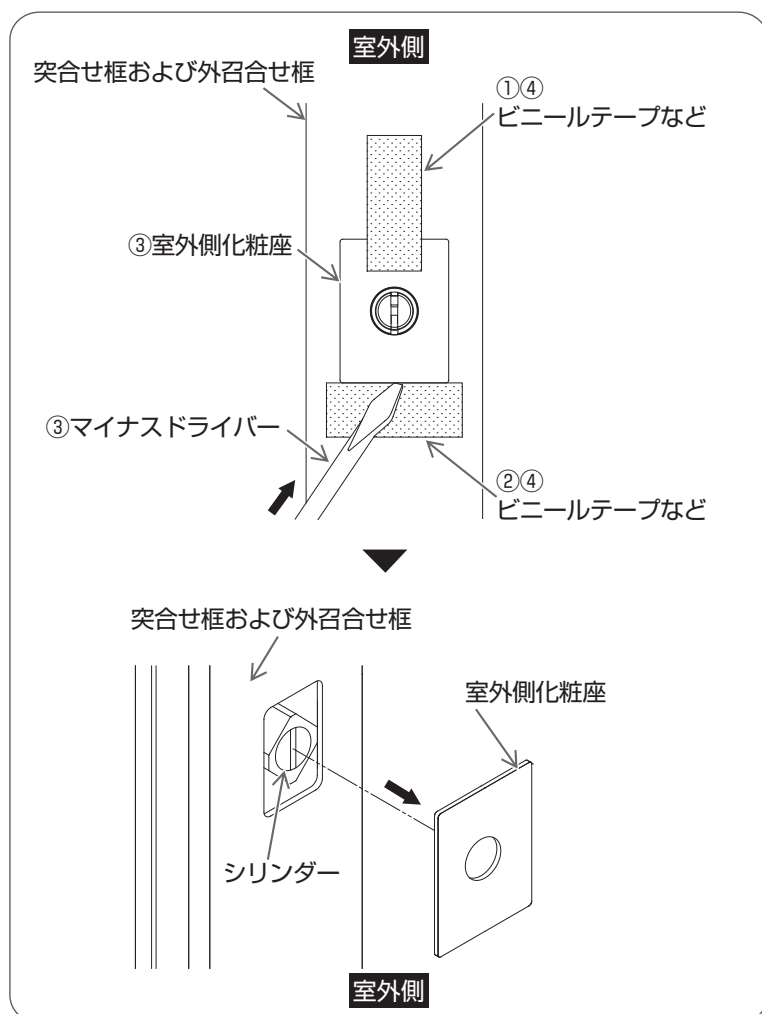
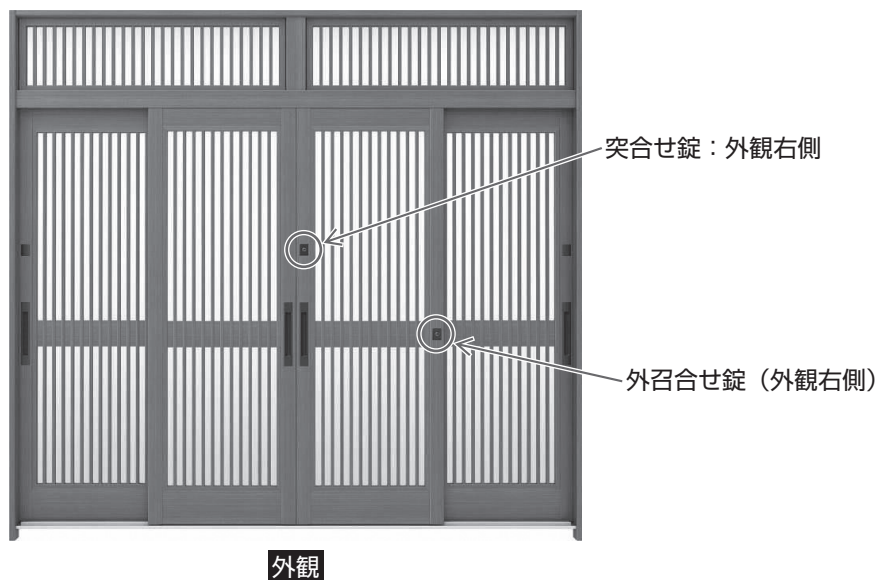
※部品の取り付け方は7～13ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

2 室外側化粧座の取りはずし(突合せ錠、外召合せ錠共通)



- ① 室外側化粧座上部を飛散防止用として、ビニールテープなどで仮止めする。
- ※ 室外側化粧座をはずした際に、勢いよく飛び出し、顔などに当たりケガをするおそれがあります。必ず行ってください。
- ② 室外側化粧座下部の突合せ枠および外召合せ枠表面にキズ防止用として、ビニールテープなどを貼る。
- ③ 室外側化粧座の下側からマイナスドライバーを差し込み、室外側化粧座をはずす。
- ④ ビニールテープなどをはがす。

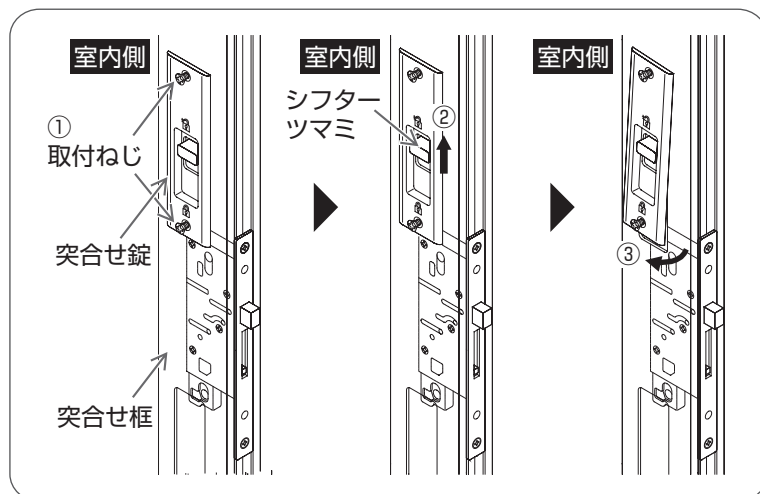
※部品の取り付け方は7～13ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

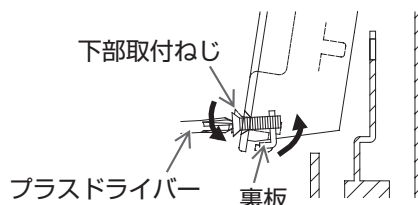
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

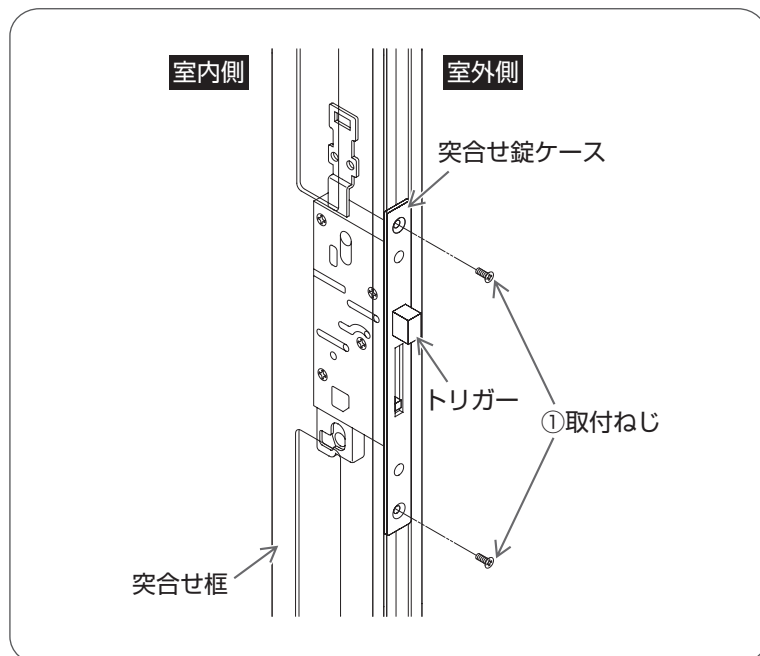
3 突合せ錠の取りはずし



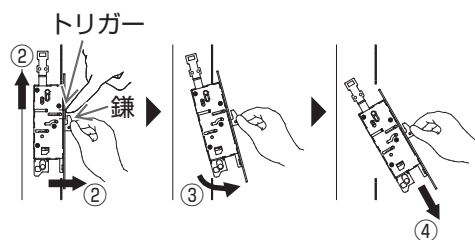
- ①室内側よりプラスドライバーで突合せ錠の取付ねじを固くなるまでゆるめる。
※取付ねじはゆるむだけで、はずれません。
- ②突合せ錠のシフターツマミを上げながら突合せ錠を上スライドする。
- ③突合せ錠の下部を引き出す。
※引き出す際、プラスドライバーで下部取付ねじを下げると裏板が持ち上がり、はずし易くなります。(下図参照)



4 突合せ錠ケースの取りはずし



- ①プラスドライバーで突合せ錠ケースの取付ねじをはずす。
 - ②突合せ錠ケースのトリガーを押して鎌を出し、鎌を指でつまんで突合せ錠ケースを戸先枠から少し引き出して上にスライドする。
 - ③鎌を指でつまんだまま突合せ錠ケースの下部を引き出す。
 - ④突合せ錠ケースを斜めに下げて突合せ錠ケースをはずす。
- ※②～④は取りはずし方がわかり易いように突合せ枠内部で説明しています。



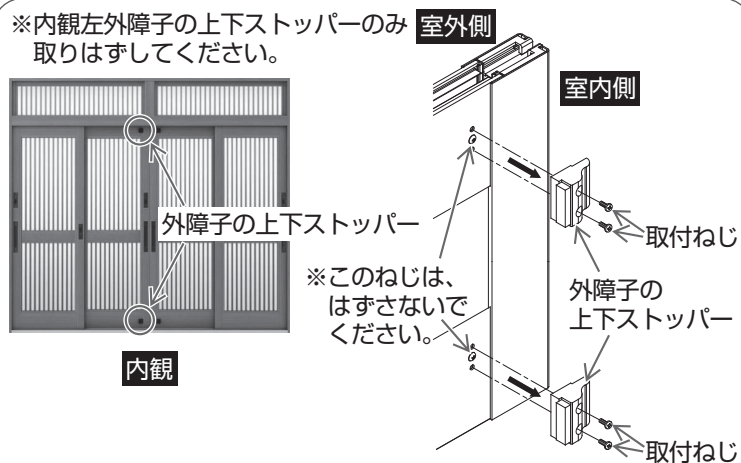
※部品の取り付け方は7～13ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

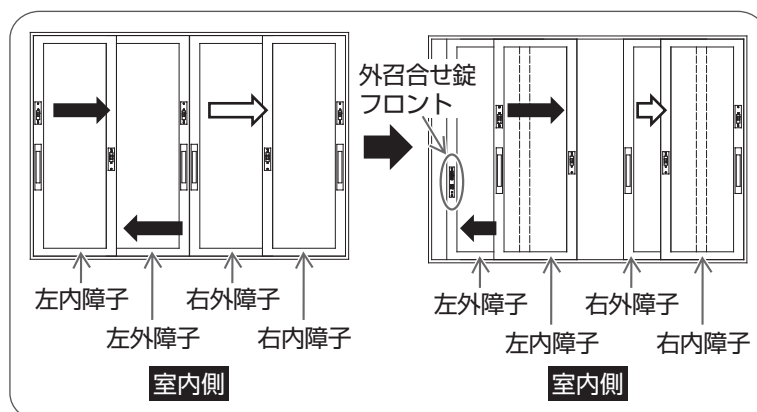
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

5 外障子の上下ストッパーの取りはずし



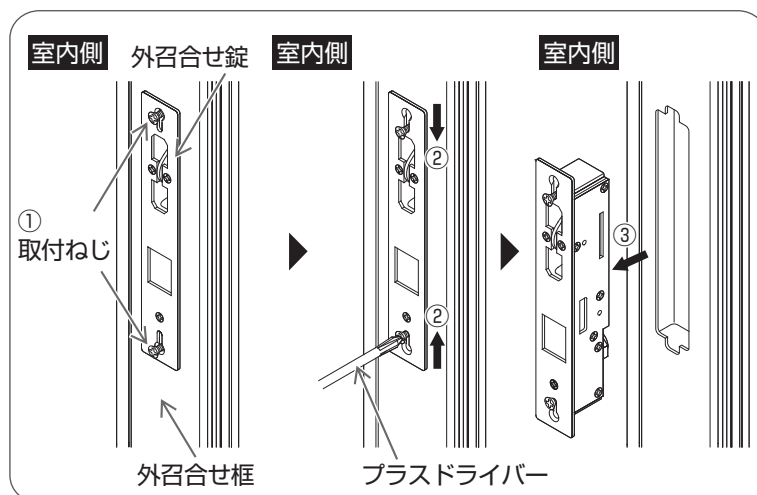
室内側よりプラスドライバーで外障子の上下ストッパーの取付ねじをはずし、外障子の上下ストッパーをはずす。
※外召合せ錠を取りはずすために必要な作業です。必ず、行ってください。
※取りはずした外障子のストッパーおよび取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

6 引戸を行き違える ※説明図は突合せが室内外側舟底引手タイプで説明しています。



室内側より左側の内障子と外障子を行き違わせて左側の外障子の外召合せ錠のフロントを見えるようにする。

7 外召合せ錠の取りはずし



- ①室内側よりプラスドライバーで外召合せ錠の取付ねじを固くなるまでゆるめる。
※取付ねじはゆるむだけで、はずれません。
- ②ゆるんだ上部取付ねじは下へスライドする。
下部取付ねじはプラスドライバーを差し込んで上にスライドし、しめる。
※下部取付ねじをしめるとねじが下がらず、はずし易くなります。
- ③外召合せ錠を引き出してはずす。

※部品の取り付け方は7～13ページをご覧ください。

部品の取り付け方

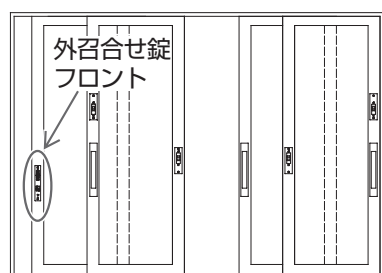
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください

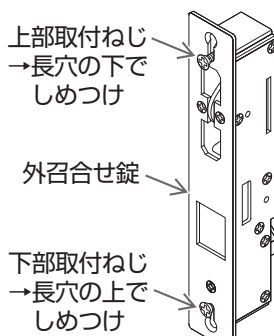
※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 外召合せ錠の取り付け

※説明図は突合せが室内側 ※交換用外召合せ錠の取り付け前の確認
舟底引手タイプで説明
しています。

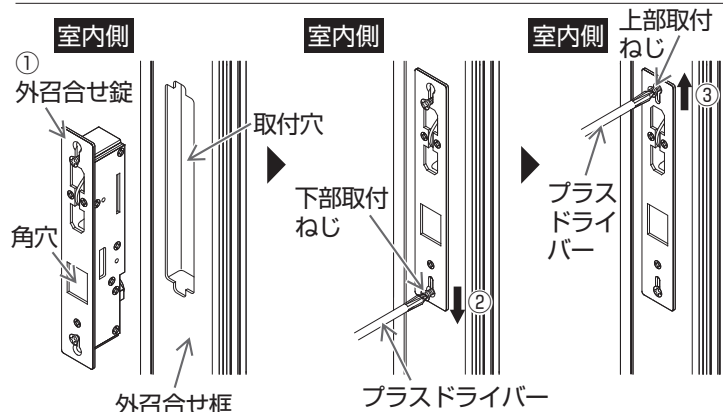


室内側



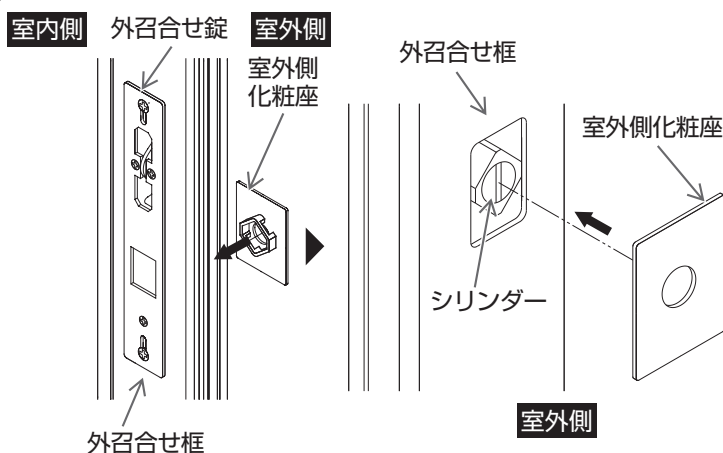
※上部取付ねじは長穴の下でしめつけ、下部取付ねじは長穴の上でしめつけられていることを確認してください。

※取り付け前には取付ねじをゆるめないでください。
下部取付ねじが下がっていると取り付けが困難になります。



- ①室内側より外召合せ錠のフロントの角穴を下にして取付穴に差し込む。
- ②プラスドライバーで下部取付ねじをゆるめ、下にスライドし、しめる。
- ③同じく上部取付ねじをゆるめ、上にスライドし、しめる。

2 外召合せ錠用室外側化粧座の取り付け



- ①外召合せ錠用室外側化粧座に貼ってあるシール(下図)をはがす。

〈召合せ錠用〉

工事中使用禁止
工事終了後
お剥がしください

※戸先錠2ロックの場合
(下部戸先錠用)

- ②室外側より室外側化粧座を外召合せ錠のシリンダーに差し込む。
※室外側化粧座には上下はありません。

※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。

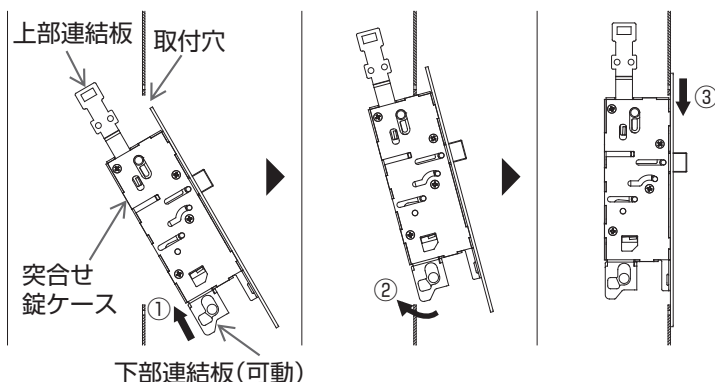
部品の取り付け方

お願い

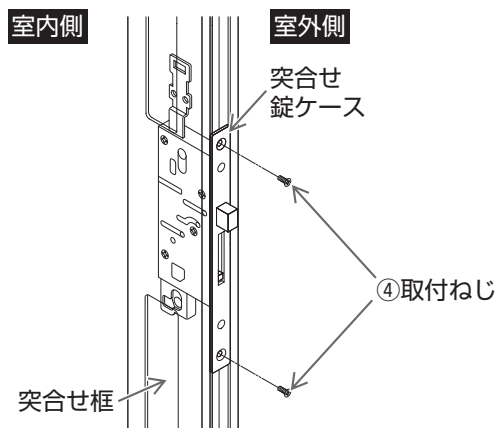
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

3 突合せ錠ケースの取り付け

※①～③は取り付け方がわかり易いように突合せ枠内部で説明しています。

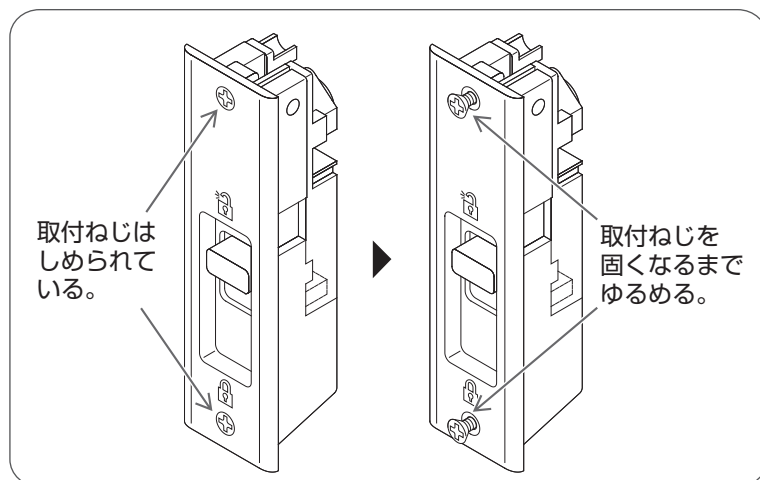


- ① 突合せ錠ケースの上部連結板を上にして取付穴に差し込む。
- ② 突合せ錠ケースの下部を取付穴に押し込む。
- ③ 突合せ錠ケースを下にスライドする。
- ④ プラスドライバーで突合せ錠ケースの取付ねじをしめる。



4 突合せ錠の取り付け

4-1 交換用突合せ錠の取り付け前の準備



- ※交換用突合せ錠の取付ねじは、あらかじめ締められています。
プラスドライバーで固くなるまでゆるめてください。
ゆるめないと取り付けができません。
※取付ねじはゆるむだけで、はずれません。

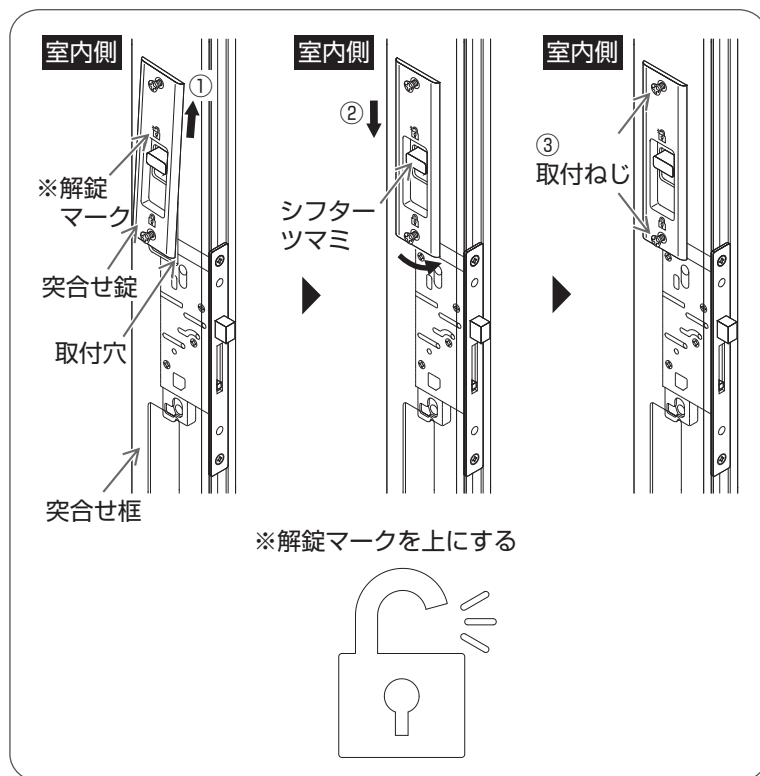
※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

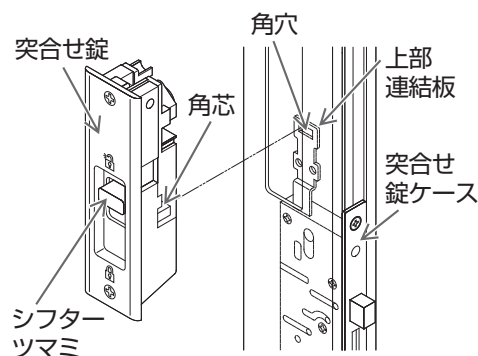
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

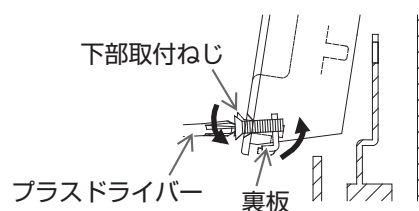
4-2 突合せ錠の取り付け



- ①室内側より突合せ錠の「解錠マーク」を上にして突合せ錠の上部を取付穴に差し込む。
※差し込む際、必ず突合せ錠の角芯を突合せ錠ケースの上部連結板の角穴に差し込んでください。(下図参照)



- ②突合せ錠のシフターツマミを上げながら突合せ錠の下部を押し込んで下にスライドする。
※押し込む際、プラスドライバーで下部取付ねじを下げると裏板が持ち上がり、押し込み易くなります。(下図参照)
- ③プラスドライバーで突合せ錠の取付ねじをしめる。



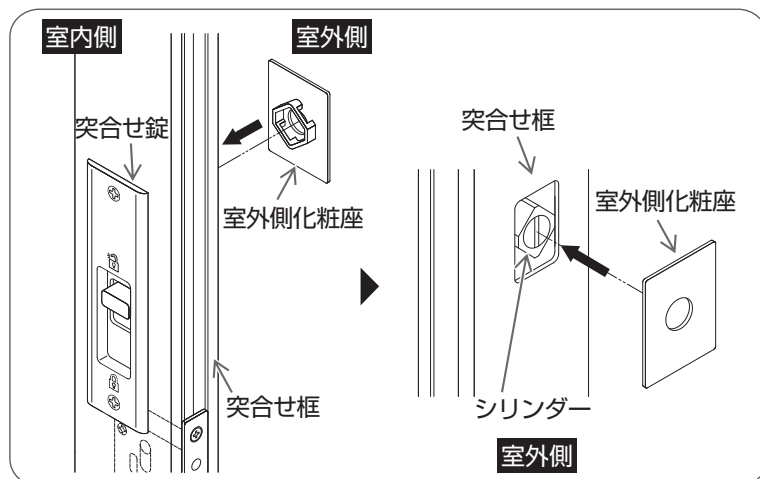
※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

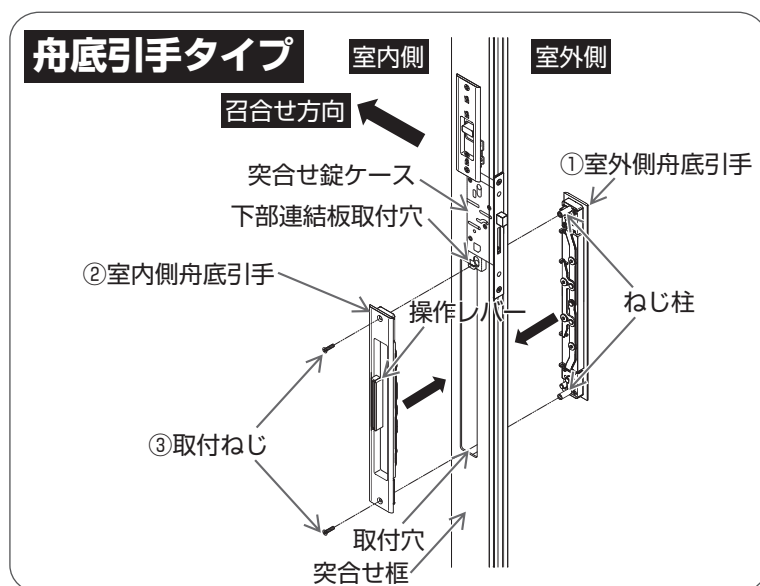
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

5 突合せ錠用室外側化粧座の取り付け



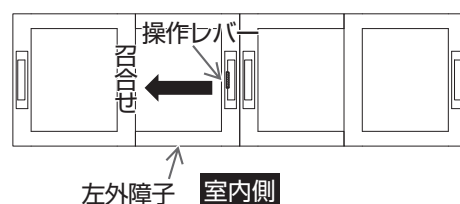
室外側より室外側化粧座を突合せ錠のシリンダーに差し込む。
※室外側化粧座には上下はありません。

6 突合せ側操作部の取り付け



※舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項

- ・操作レバーを押さずに取り付けてください。押した状態で取り付けると突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・取り付け時に操作レバーを召合せに向けて取り付けてください。逆方向に取り付けると操作レバーが作動しません。(下図参照)



- ① 室外側より室外側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室外側舟底引手のねじ柱を突合せ錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて室外側舟底引手を取付穴に差し込む。
 - ② 室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室内側舟底引手を室外側舟底引手のねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
 - ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ※室内外側バーハンドルタイプの取り付け方は11ページ、室外側バーハンドルタイプの取り付け方は12ページを参照してください。

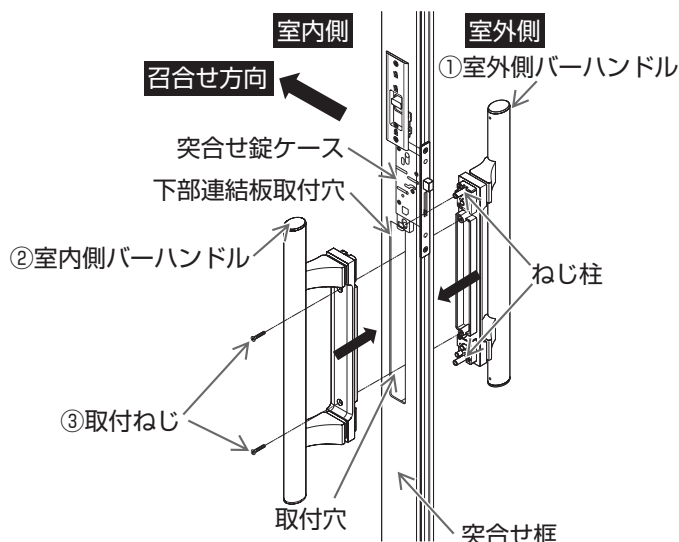
※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

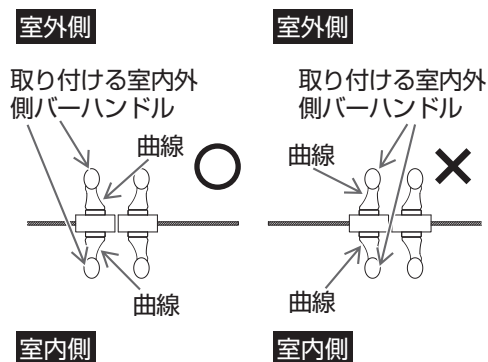
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

室内外側バーハンドルタイプ



※室内外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室内外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
 - ・室内外側バーハンドルの曲線部を中央部に向けて取り付けてください。
- 逆方向に取り付けると、ラッチ付室内外側バーハンドルは作動しません。(下図参照)



- ①室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を突合せ錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ②室内側より室内側バーハンドルを室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

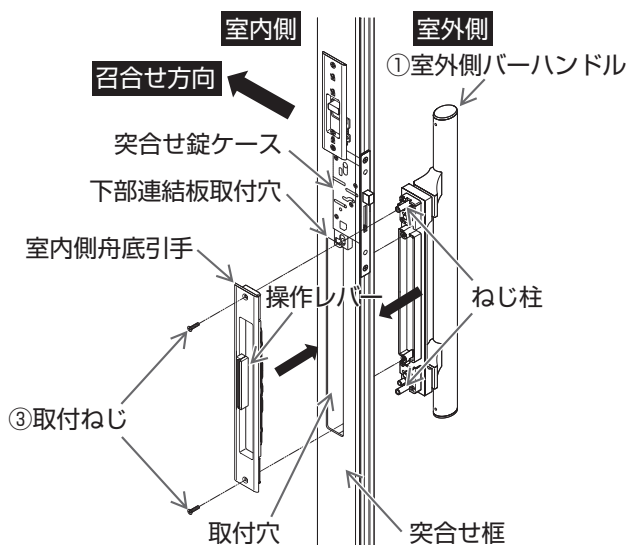
※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

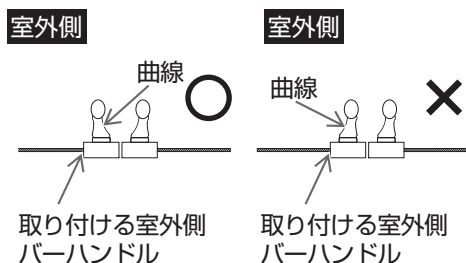
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

室外側バーハンドルタイプ



※室外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

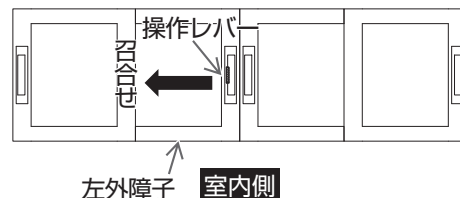
- ・ラッチ付の室外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
 - ・室外側バーハンドルの曲線部を中央部に向けて取り付けてください。
- 逆方向に取り付けると、ラッチ付室外側バーハンドルは作動しません。(下図参照)



室内側

※室内側舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項

- ・操作レバーを押さずに取り付けください。押した状態で取り付けると突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
 - ・取り付け時に操作レバーを召合せに向けて左外障子に取り付けてください。
- 逆方向に取り付けると操作レバーが作動しません。(下図参照)



- ① 室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を突合せ錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室内側舟底引手を室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

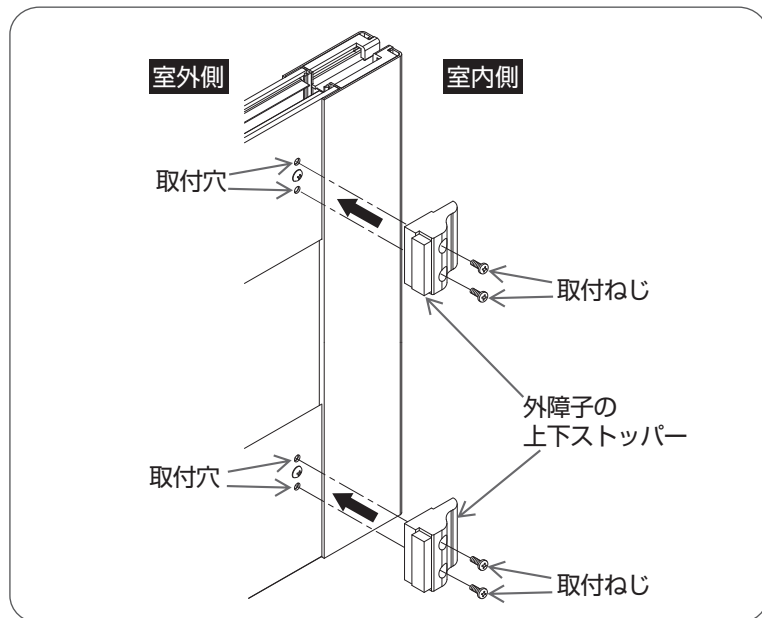
※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

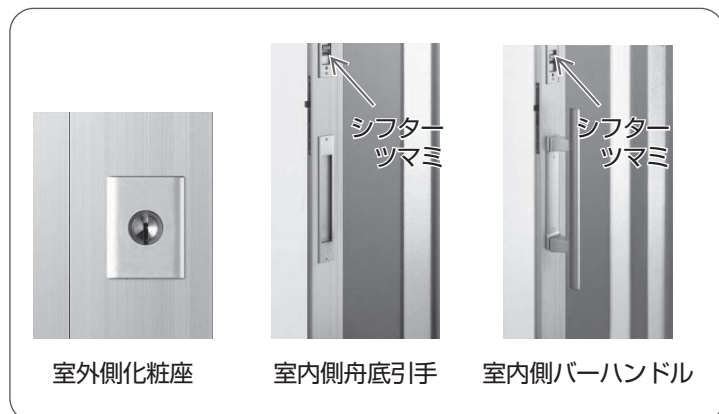
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

7 外障子の上下ストッパーの取り付け



室内側より外障子の上下ストッパーを取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 引手およびハンドルを動かして引戸を開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ シフターツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は2～6ページをご覧ください。